気象庁
Japan Meteorological Agency

お　知　ら　せ

平成 30 年 1 月 4 日
福 岡 管 区 気 象 台

2017 年（平成 29 年）の九州北部地方（山口県を含む）の天候

2017 年の九州北部地方の天候のポイント

○冬から夏にかけて高気圧に覆われやすかったため、年間の日照時間は多かった。
○夏は暖かい空気に覆われやすく晴れの日が多かったため、気温がかなり高く、日照時間もかなり多かった。また、梅雨期間が記録的に短かった。
○梅雨期間が短かった一方で７月５日～６日には前線の活動が非常に活発となって「平成 29 年７月九州北部豪雨」が発生した。
○秋は台風・低気圧や前線の影響を受けやすかったため、降水量がかなり多く、日照時間はかなり少なかった。

＜季節毎の概況＞

冬（2016 年 12 月～２月）高気圧に覆われやすく、暖かい冬。日照時間がかなり多かった。

寒気の南下が弱く、気温の高い日が多かったため、12 月～２月の平均気温の平年差は+0.9℃と高く、暖冬となった（**図１**）。12 月は低気圧や前線の影響を受けやすかったため、12 月～２月の降水量の平年比は 118%と多くなった（**図２**）、一方、１月、２月は高気圧に覆われやすく、12 月～２月の日照時間の平年比は 115%とかなり多かった（**図３**）。

春（３月～５月）高気圧に覆われやすく、暖かい春。日照時間が多かった。

日本の北と南海上を低気圧が通りやすく、高気圧に覆われて晴れる日が多かったため、３月～５月の降水量の平年比は 82%と少なく（**図２**）、日照時間の平年比は 115%と多かった（**図３**）。南から暖かい空気が流れ込みやすく、３月～５月の平均気温の平年差は+0.6℃と高くなった（**図１**）。

夏（６月～８月）梅雨期間が短く、暑い夏。日照時間がかなり多く、降水量が少なかった。

日本の南海上では太平洋高気圧の西への張り出しが強く、暖かい空気に覆われやすかったため、６月～８月の平均気温の平年差は+0.9℃とかなり高くなった（**図１**）。また、梅雨前線の影響を受けにくかったため、梅雨期間が記録的に短く、６月～８月の降水量の平年比は 70%と少なく（**図２**）、日照時間の平年比は 114%とかなり多かった（**図３**）。７月は梅雨前線の活動が非常に活発となった時期があり、湿った空気や上空の寒気などの影響も加わって、７月５日～６日に「平成 29 年７月九州北部豪雨」が発生した。

秋（９月～11 月）記録的な多雨。日照時間がかなり少なかった秋。

９月から 10 月にかけては西日本付近に停滞する前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込みやすかった。また、９月には台風第 18 号が、10 月には台風第 22 号が接近した。この影響で 10 月の降水量の平年比は 348%と多い方からの記録第１位を更新するなど、９月～11 月の降水量の平年比は 154%とかなり多くなった（**図２**）。一方、日照時間の平年比は 84%とかなり少なかった（**図３**）。なお、平均気温の平年差は-0.1℃と平年並だった（**図１**）。

12 月　寒い初冬。降水量がかなり少なかった。

北からの寒気の影響を受けやすく、平均気温の平年差は-1.7℃とかなり低くなった（**図１**）。降水量の平年比は 39%とかなり少なく（**図２**）、日照時間の平年比は 86%と少なかった（**図３**）。

問合せ先：福岡管区気象台気象防災部
地球環境・海洋課　担当：田代・高野
電話 092-725-3613（内線 3610・3611）　FAX　092-761-1726

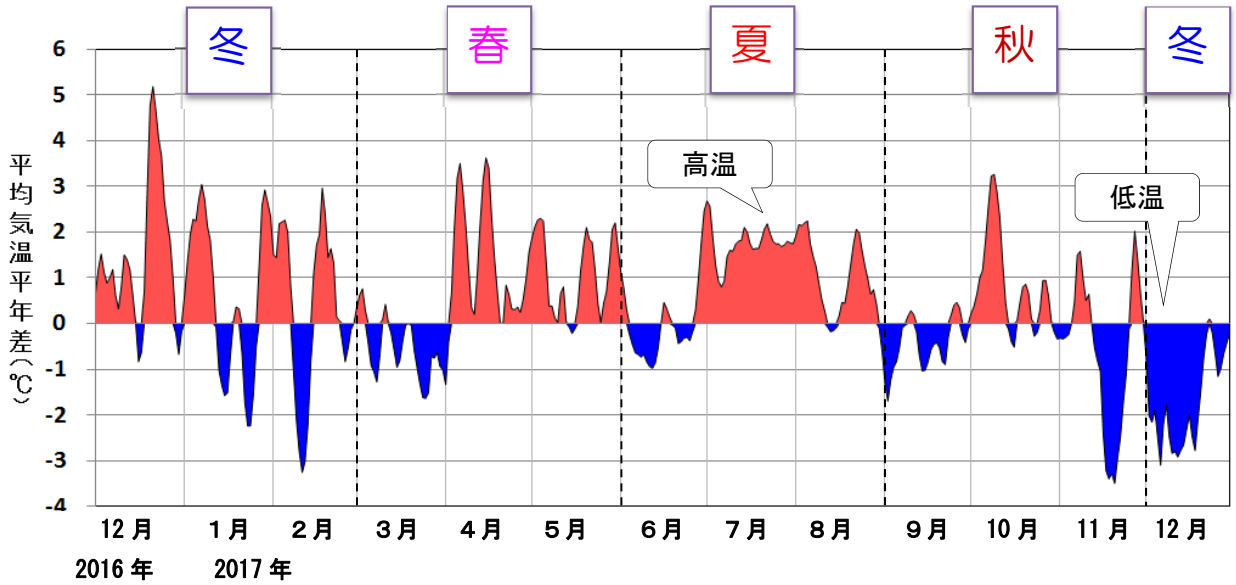

図１　九州北部地方の平均気温の地域平均平年差（５日移動平均）

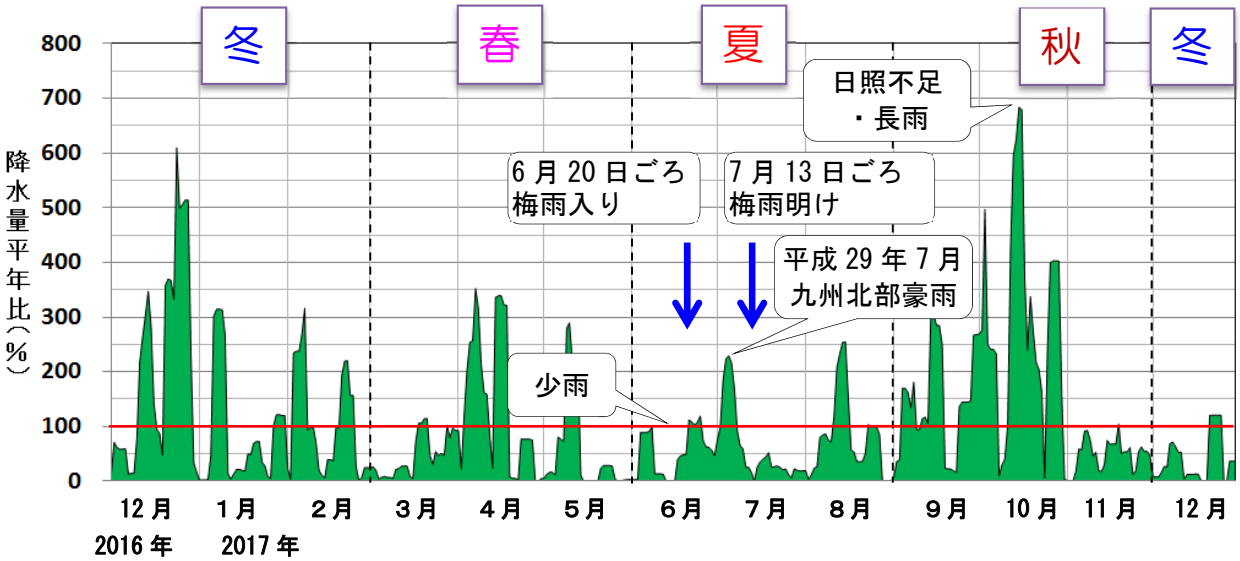

図２　九州北部地方の降水量の地域平均平年比（５日移動平均）

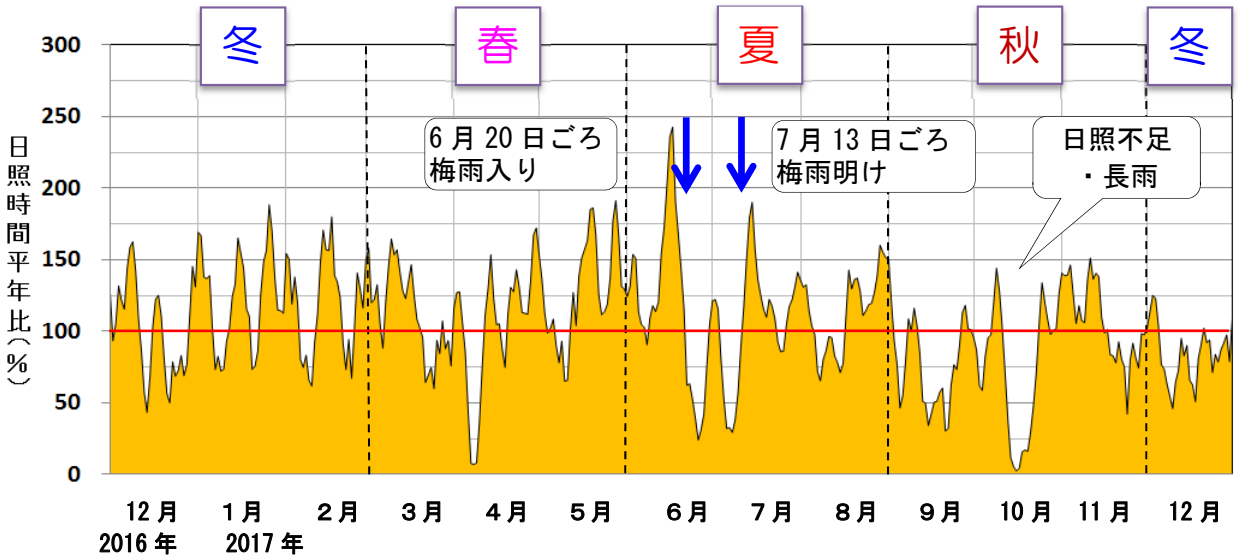

図３　九州北部地方の日照時間の地域平均平年比（５日移動平均）

表１　九州北部地方の平均気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）

	平均気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
2016 年 12 月	かなり高い(+1.5)	かなり多い(190)	平年並(102)
2017 年　1月	高　い(+0.7)	平年並(81)	かなり多い(123)
2月	平年並(+0.3)	平年並(94)	かなり多い(119)
冬(12 月～2月)※	高　い(+0.9)	多　い(118)	かなり多い(115)
3月	低　い(−0.5)	かなり少ない(51)	多　い(111)
4月	かなり高い(+1.2)	多　い(142)	平年並(104)
5月	かなり高い(+1.0)	かなり少ない(57)	かなり多い(130)
春(3月～5月)	高　い(+0.6)	少ない(82)	多　い(115)
6月	平年並(−0.1)	少ない(62)	多　い(122)
7月	かなり高い(+1.7)	平年並(72)	平年並(109)
8月	高　い(+1.1)	平年並(82)	多　い(114)
夏(6月～8月)	かなり高い(+0.9)	少ない(70)	かなり多い(114)
9月	低　い(−0.5)	多　い(117)	少ない(82)
10 月	高　い(+0.8)	かなり多い(348)	かなり少ない(69)
11 月	平年並(−0.4)	少ない(46)	平年並(105)
秋(9 月～11 月)	平年並(−0.1)	かなり多い(154)	かなり少ない(84)
12 月	かなり低い(−1.7)	かなり少ない(39)	少ない(86)
年	高　い(+0.3)	少ない(90)	多　い(106)

※冬は 2016 年 12 月から 2017 年２月までの期間

＜九州北部地方の梅雨の記録＞

梅雨入りは平年より 15 日遅く、梅雨明けは平年より６日早かった（表２）。
梅雨の時期の降水量（６月と７月の降水量の合計）の地域平均平年比は 67%と少なかった（表３）。

表２　2017 年の梅雨入り・梅雨明け

地域	梅雨入り	平年	梅雨明け	平年
九州北部地方	6月 20 日ごろ （かなり遅い）	6月5日ごろ	7月 13 日ごろ （早い）	7月 19 日ごろ

表３　九州北部地方の主な地点の梅雨期間の降水量

６月と７月の合計降水量（平年値は 1981～2010 年の平均）

	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	平年値 (mm)
九州北部地方 (平年比 67%)	下　関	381.5	68	561.9
	福　岡	319.0	60	532.7
	佐　賀	481.0	71	677.5
	大　分	363.0	69	526.3
	熊　本	611.0	76	805.7
	長　崎	396.0	63	629.0

＜九州北部地方に接近・上陸した台風＞（注１）

2017 年の台風の発生数は、27 個（平年 25.6 個）であった（**表４**）。
九州北部地方への台風の接近数（上陸数を含む、**注２**）は４個（平年 3.2 個）で、台風第 3 号（７月）、台風第 5 号（８月）、台風第 18 号（９月）、台風第 22 号（10 月）であった（**表５**）。
九州北部地方への台風の上陸数（**注３**）は 1 個で、台風第 3 号が 7 月 4 日 08 時頃に長崎県長崎市付近に上陸した（**表６**）。

（**注1**）台風第 26 号以降は速報値のため、後日変更になる場合がある。
（**注2**）「九州北部地方への接近」は台風の中心が九州北部地方のいずれかの気象官署または特別地域気象観測所から 300km 以内に入った場合を指す。
（**注3**）「九州北部地方への上陸」は台風の中心が九州北部地方本土の海岸線に達した場合を指す。

表４　台風の発生数

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年
2017 年	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**1**	**8**	**5**	**4**	**3**	**3**	**2**	**27**
平年値	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6

表５　九州北部地方への台風の接近数

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年
2017 年	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**1**	**1**	**1**	**0**	**0**	**4**
平年値	－	－	－	0.0	0.0	0.3	0.8	1.0	1.0	0.3	－	－	3.2

表６　九州北部地方への台風の上陸数

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年
2017 年	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**

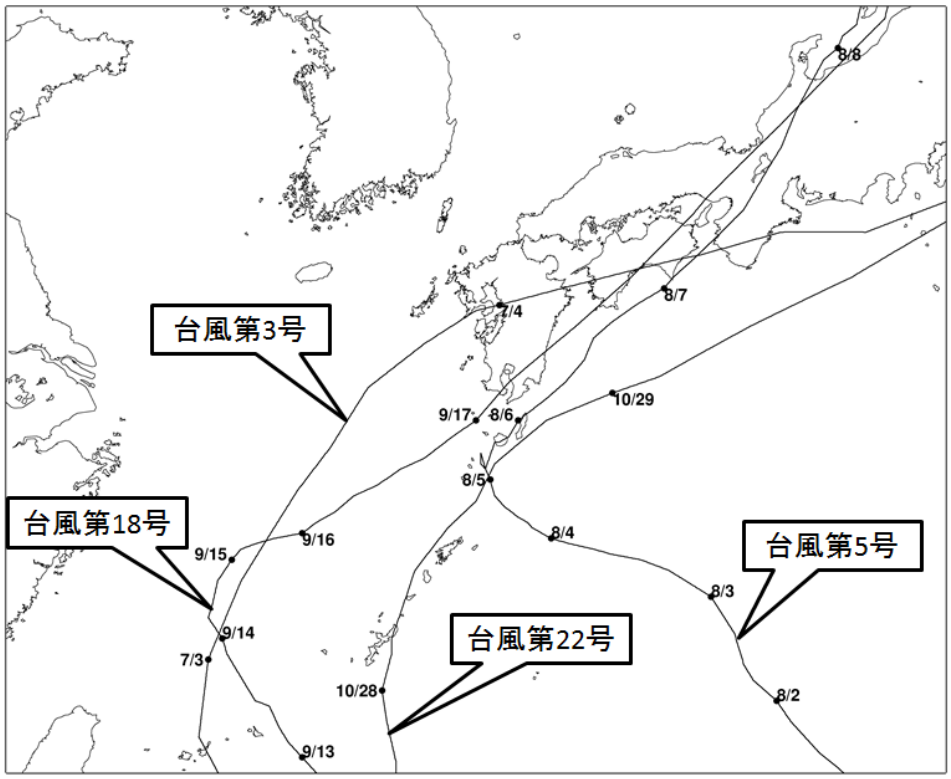

図４　九州北部地方へ接近した台風の経路図（黒丸は 09 時（日本時間）の位置）